

市町村名	大宜味村							
平成２７年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	ふるさと河川環境再生・活用整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－（1）－（イ）			
担当部課名	建設環境課	事業実施 （予定）年度	平成26～31年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	陸域・水辺環境の保全			
事業内容	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	26,184	40,022	－			
		(b) 予算現額	11,431	42,155	－			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 14,753	2,133	0			
		(d) 繰越額	－	－	27,295			
		A. 計 (b+d)	11,431	42,155	27,295			
	B. 執行済額		11,431	14,860	27,292			
	うち交付金充当額		9,144	11,888	21,833			
	次年度繰越額		0	27,295	－			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	35.3%	100.0%			
予算の状況の説明		推進計画策定業務の中で地域とのワークショップを行い、土地改良事業で整備されてた下流側のコンクリート三面張りの解消について議論され、環境再生の観点からも撤去を新たに組み込んだ。それに伴い既設護岸の撤去が必要となったことによる護岸復旧箇所の地質調査業務の追加が新たに生じ予算の増額が必要となった。 また、それに伴う内容調整に不足の日数が生じたため、平成27年度内での完了が困難となり繰越となった。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	・推進計画の検討	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
	・実施測量設計（大川川、L=2,600m）	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
達成状況説明	平成27年度に予定していた推進計画策定業務については地域の意見も集約し制定することが出来た。しかし、実施設計業務においては当初予定されていなかった地質の調査が必要となり、業務発注計画の検討等に不足の日数を要し繰越となった。平成28年8月に業務完了となっている。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	H27成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （ 年度）
	・推進計画の決定	目 標	（ ）	（ 制定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		制定				
	・実施計画書の完成	目 標	（ ）	（ 完成 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完成				
	進捗状況説明	推進計画策定業務の中で地域とのワークショップを行い、土地改良事業で整備された下流側のコンクリート三面張りの解消について議論され、内容の整理・調整に不足の日数を要した。それに伴い既設護岸の撤去及び護岸設置部の地質調査業務が新たに必要となり、実施調査の業務内容の検討や見直しに不足の日数を要したため年度内での完了が厳しく繰越となり、平成28年8月に業務完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在河川沿いには雑木が生い茂り、生活雑用水等の流入がみられ河川環境に悪影響が生じている。昔は憩いの場として利用されていた河川環境が失われており、地域からも癒やされる憩いの河川へという思いが根強くある。大川川は護岸擁壁と未整備の自然土波が混在しており、石積護岸箇所は築50年以上を経過していることから老朽化による護岸崩壊等が多々起っている。平成21年度に大宜味村観光振興基本計画を策定し観光振興への気運が高まる中、近年河川沿いの喜如嘉土地改良区内（田園）で栽培されているオクラレルカが人気となり、現地を訪れる観光客も年々増えている。田園を回る道路は河川に接しており、河川沿いには景観に配慮した整備が必要である。今後は実施設計が完了しており、計画的に整備を進めていく。	大宜味村謝名城・喜如嘉地内を流れる大川川について魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化が図れるような施策として本事業を展開する。そのため、河川全体の自然環境再生を視野に入れ、景観にも配慮した計画を推進する必要がある。今回の2業務について調整に不足の日数を要し実施設計業務が繰越となってしまったことから、次年度予定されている工事においては早急な発注前調整を行い、円滑に事業を遂行していきたい。
今後の取り組み方針		
平成27年度に繰越をしていることから、早めに工事が着手できるよう用地交渉及び関係機関との調整を行い、護岸工事を推進していきたい。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>42,152</td><td>42,152</td><td>33,721</td><td>8,431</td><td>0</td></tr></table> 大宜味村 42,152千円 → 委託料 4,007千円 → 泉エンジニアリング（資） 4,007千円 大川川等多自然川づくり推進計画策定委託業務 → 委託料 38,145千円 → 泉エンジニアリング（資） 38,145千円 大川川多自然川整備測量設計調査委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	42,152	42,152	33,721	8,431	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
42,152	42,152	33,721	8,431	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模についてはほぼ100%執行しており、適正な規模であったと考える。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	大宜味村						
平成２７年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3－③	結の浜安心安全な環境づくり整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容	結の浜地区における安心・安全を提供するため、「結の浜地区における防災基本計画」及び「大宜味村防災基本計画調査測量設計」に基づく、結の浜地区津波1次避難のための、避難路2路線の整備工事を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他（役務費手数料）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,000	146,771	－		
		(b) 予算現額	28,000	153,773	－		
		(c) 増減額 (b-a)	0	7,002	－		
		(d) 繰越額	－	0	101,884		
		A. 計 (a+d)	28,000	153,773	101,884		
	B. 執行済額		15,509	51,889	101,680		
	うち交付金充当額		12,407	41,510	81,344		
	次年度繰越額		－	101,884	－		
	執行率（％）(B/A)		55.4%	33.7%	99.8%		
予算の状況の説明		・予算の増については基礎工の掘削作業中に斜面崩落があり、対応のための工法変更と工事完了後に、用地取得面積を確定させるための土地分筆業務が必要となったことによる増額。 ・繰越事業となった経緯は、用地取得に伴う線形の変更や法面崩落箇所の施工追加のため工期を延長したことによる。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	用地購入	目 標	(17筆)	()	()	()	
		実 績	11筆				
	避難路工事の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	完了				
達成状況説明	用地の購入においては、土地利権者が死亡して長い年月が経過していることで、相続手続きが進まず目標を達成することが出来なかった。未購入用地については土地権利者の代表からの「土地使用承諾書」による用地利用を行っている。平成26年度に実施した「基本計画」「調査測量設計」に基づき、平成27年度内での避難路整備工事を予定していたが、用地の取得に伴う線形の変更や、法面崩落箇所の追加工事等により工期を延長したため、平成28年度へ事業を繰り越し、避難階段2路線、照明灯10基、防災サイン4基の整備を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	避難路の整備に向けた用地の確保完了	目 標	()	(17筆)	()	()	()
		実 績		11筆			
	避難路整備率100%（2箇所/2箇所）	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	進捗状況説明	用地の一部に関して、未相続のため土地の購入が完了していない、「土地使用承諾書」による用地利用を行っており、引き続き用地購入の手続きを行っている。 避難路については、平成28年12月より供用を開始しており、引き続き避難訓練等の支援を行っている。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	公有水面埋立事業により、新たに取得した平地である「結の浜」には、下水処理施設、村立診療所、企業支援賃貸工場、村営住宅、宅地分譲地、公園、小中学校、コンビニエンスストア、民間賃貸アパートが整備され、今後も施設整備等の計画があることから、定住・交流人口の増加が見込まれている。しかし、外海と面していることから、津波から避難するための、避難路整備を行った。 「結の浜」地区の土地の形状が、南北へ伸びていることから、避難路を2路線とし、徒歩による避難のための階段としたが、用地交渉に伴う線形の変更や、急傾斜地の現場のため重機使用に制限があり、28年度に繰越して事業を実施した。 平常時から、避難路を利用し、避難経路や避難にかかる時間を個々で把握する意識付けを行い、一斉避難訓練の支援を行う必要がある。	当該避難路は、雑木が生い茂る急傾斜地に整備されているため、常時から安全な利用ができるように、避難路内の障害物（小石等）や除草、枝打ち、夜間照明灯のメンテナンス等の維持管理を定期的に行いたい。 また、学校や地区と連携して、避難階段から津波一次避難広場までの一斉避難訓練を行いたい。
今後の取り組み方針		
避難路は平成28年12月に供用開始し、関連事業である平成28年度事業の避難広場については平成29年3月から供用を開始しているので、平成29年度内で小中学校及び結の浜地区を対象とした一斉避難訓練を計2回実施する。 また、「結の浜」地区への定住人口が増えていることから、防災・減災への啓発活動を行い自主防災組織の組織化支援を行っていく。 避難路内の障害物（小石等）の除去や、草刈り、枝打ち、夜間照明灯の維持管理を定期的に行っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																										
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象 事業費</th><th colspan="2">交付金 充当額</th><th rowspan="2">交付対象 外経費</th></tr><tr><th>交付金</th><th>市町村 負担金</th></tr><tr><td>153,569</td><td>153,569</td><td>122,854</td><td>30,715</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費	交付金	市町村 負担金	153,569	153,569	122,854	30,715	0										
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費																						
		交付金	市町村 負担金																							
153,569	153,569	122,854	30,715	0																						
<table><tr><td rowspan="4">大宜味村 153,569千円</td><td>役務費 481千円</td><td>株式会社 仲本不動産鑑定研究所 481千円</td><td colspan="2">不動産鑑定評価及び個別格差率査定業務</td></tr><tr><td>委託費 8,220千円</td><td>株式会社 ホープ設計 7,020千円</td><td colspan="2">結の浜地区避難路整備工事 現場技術業務委託</td></tr><tr><td></td><td>公益社団法人 沖縄県公共嘱託登記 土地家屋調査士協会 1,200千円</td><td colspan="2">結の浜地区避難路整備工事土地分筆業務委</td></tr><tr><td>工事請負費 143,705千円</td><td>有限会社 新栄建設 143,705千円</td><td colspan="2">結の浜地区避難路整備工事</td></tr><tr><td></td><td>公有財産購入費 1,163千円</td><td>11名／11筆(1, 172.09㎡) 1,163千円</td><td colspan="2">土地売買契約</td></tr></table>					大宜味村 153,569千円	役務費 481千円	株式会社 仲本不動産鑑定研究所 481千円	不動産鑑定評価及び個別格差率査定業務		委託費 8,220千円	株式会社 ホープ設計 7,020千円	結の浜地区避難路整備工事 現場技術業務委託			公益社団法人 沖縄県公共嘱託登記 土地家屋調査士協会 1,200千円	結の浜地区避難路整備工事土地分筆業務委		工事請負費 143,705千円	有限会社 新栄建設 143,705千円	結の浜地区避難路整備工事			公有財産購入費 1,163千円	11名／11筆(1, 172.09㎡) 1,163千円	土地売買契約	
大宜味村 153,569千円	役務費 481千円	株式会社 仲本不動産鑑定研究所 481千円	不動産鑑定評価及び個別格差率査定業務																							
	委託費 8,220千円	株式会社 ホープ設計 7,020千円	結の浜地区避難路整備工事 現場技術業務委託																							
		公益社団法人 沖縄県公共嘱託登記 土地家屋調査士協会 1,200千円	結の浜地区避難路整備工事土地分筆業務委																							
	工事請負費 143,705千円	有限会社 新栄建設 143,705千円	結の浜地区避難路整備工事																							
	公有財産購入費 1,163千円	11名／11筆(1, 172.09㎡) 1,163千円	土地売買契約																							
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																							
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は指名競争入札で決定しており、妥当であったと考えている。																							
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、当初予算額より、7,000千円増額し不用額が出てしまったが、業務内容の見直しが必要となったことによるものなので、適正であったと考えている。																							
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。																							
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																								